



レッツエンジョイ集会

各委員会が準備したブースを縦割り班の仲間と一緒にまわり、楽しみながら委員会の取組を知るレッツエンジョイ集会が行われました。

1回目は、運営委員会の「手話体験」、給食委員会の「三色食品群食材分けゲーム」、美化委員会の「美化クイズ」、運動委員会の「ティーバッティング」を楽しみました。2回目は、運営委員会の「障害のある人について知ろうクイズ」、栽培委員会の「栽培クイズ」、図書委員会の「本の文字探しゲーム」、保健委員会の「保健クイズ」を楽しみました。



日頃、縦割り清掃やなかま活動等の活動に関わっている子供たちだけあって、声をかけ合い協力しながらクイズやゲームに取り組む姿が見られました。また、高学年の子供たちは、縦割り班のリーダーとして下級生を引率したり、委員会のブースでみんなを楽しませたりと大活躍でした。このような楽しい活動を今後も継続していきたいです。

幼稚園との交流学习

1年生は、小学校に年長さんを招待して交流学习を行いました。子供たちは、どのような活動だったら楽しんでもらえるかを考えながら出し物を準備したり、喜んでもらえるように景品を用意したりと、相手が年長さんであることを意識しながら意欲的に準備を進めました。

当日も、自分から進んで年長さんに話しかけたり、できたことを褒めてあげたりするなど、わずか1学年の違いですが、お兄さん、お姉さんとして張り切って活動する様子が見られました。



集会後の振り返りでは、自分たちの出し物がうまくいったことだけでなく、「年長さんが喜んでくれたから自分も嬉しくなった」といった感想が多く聞かれました。交流学习を通して、「相手の喜ぶ顔を見て自分も嬉しくなる」というすてきな経験をすることができたようです。

キャリア教育講演会

高学年を対象としたキャリア教育講演会を行いました。講師は、日本海ガス絆ホールディングス株式会社の代表取締役社長、新田洋太朗さんです。新田さんは、ふたば会広報部副部長として附属小学校のために力を尽くしてくださっています。また、附属小学校を卒業された、子供たちの先輩でもあります。

講演会のテーマは「これからのキャリアを歩む附属っ子のみなさまへ」です。新田さんは将来に向けて努力してきたことや大切にしてきたことについて話してくださいました。また、うまくいかなかったことについても教えてくださいました。また、子供たちは新田さんの話を身近に感じ、自分事として捉えることができました。

新田さんのお話は、子供たちの「自分の将来について真剣に考えたい」という思いを強くさせてくださいました。教えていただいたことを生かしながら、将来に向かって一步一步進んでいく姿を期待しています。



附小体験活動

本校では、教員を目指す学生が年間を通して子供たちと関わり、教員の仕事や授業の在り方について学ぶ「附小体験活動」を行っています。今年度は富山大学教育学部から13名の学生が来校し、理科や図画工作科、家庭科等の授業準備や片付けの補助をしたり、授業中の個別支援を行ったりしました。

先日、今年度の活動を振り返る情報交換会を行いました。13名の中には、附属小学校で教育実習を行った大学2・3年生も、まだ教育実習を経験していない大学1年生もいましたが、「授業を行うためには様々な準備が必要だということを再認識した」「学年や子供の実態に応じた声かけをすることが大切だと実感した」といった感想を積極的に発言していました。どの学生にとっても学びの多い体験活動になったようです。

学校としても、子供たちが教員以外の人とも関わるよい機会となっています。来年度も多くの学生が参加してくれることを期待しています。

子供たちの活躍

本校の子供たちは、毎年夏休みに自由研究に取り組んでいます。その中で優秀だった作品は、富山市の科学作品展に出品されます。富山市の科学作品展で優秀だった作品は、富山県の科学作品展に出品されます。富山県の科学作品展で優秀だった作品は、全国児童才能開発コンテストの科学部門に出品されます。

本校の科学作品は、毎年のように全国児童才能開発コンテストに出品されています。今年度も富山県から出品された作品3点のうち2点が本校の作品でした。そして、今年度は全国1位にあたる文部科学大臣賞、2位にあたる全国都道府県教育長協議会会長賞を受賞したため、先日、東京から才能開発教育研究財団の方が来校され、表彰式が行われました。

平成30年度には、本校の作品が全国1位、2位、3位に選ばれたことがあります。このときも財団の方が来校され、表彰式が行われました。上位3賞を同一の学校が受賞するのは昭和39年に開催されて以来初めてということでしたが、翌年の令和元年には、全国1位を下学年・上学年でダブル受賞し、2年連続の表彰式を行いました。今年度は、平成30年度、令和元年度に続く快挙であるといえます。

科学作品以外でも、本校の子供たちは様々な分野の大会等で上位の賞を受賞しています。結果も素晴らしいですが、目標に向かって努力した経験は何物にも代え難いものです。受賞した皆さん、おめでとうございます。
(副校長 村井悠子)